



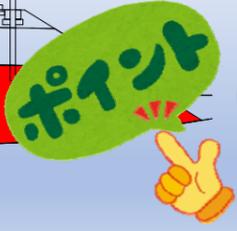
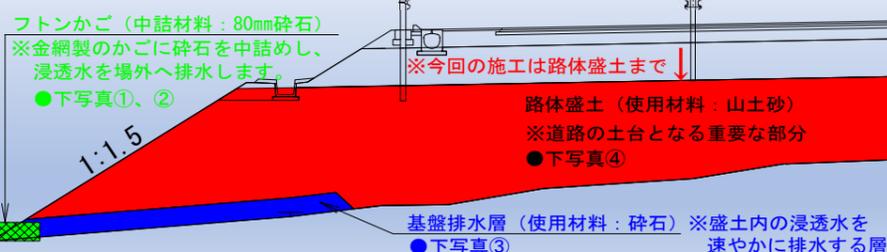
梅雨明けの待たれる今日この頃、時下益々ご清栄のことと、お慶び申し上げます。さて、西山中地区の工事に於いては暑さにも負けず、盛土作業を行っています。引続きダンプトラック10台にて盛土材を運搬しながら盛土を8月末頃まで施工予定です。先月にもお知らせ致しましたが、当工事のダンプトラックは工事識別プレートをつけて運行しています。また、来月に泉田駅周辺と現場入口周辺のゴミ拾いを行う予定ですので、何かご要望やお気付きの点があれば、下記連絡先までご連絡下さい。工事中は何かとご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、細心の注意を払いながら工事を進めて参りますので、ご理解、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

西山中地区道路改良工事 津藤、佐藤

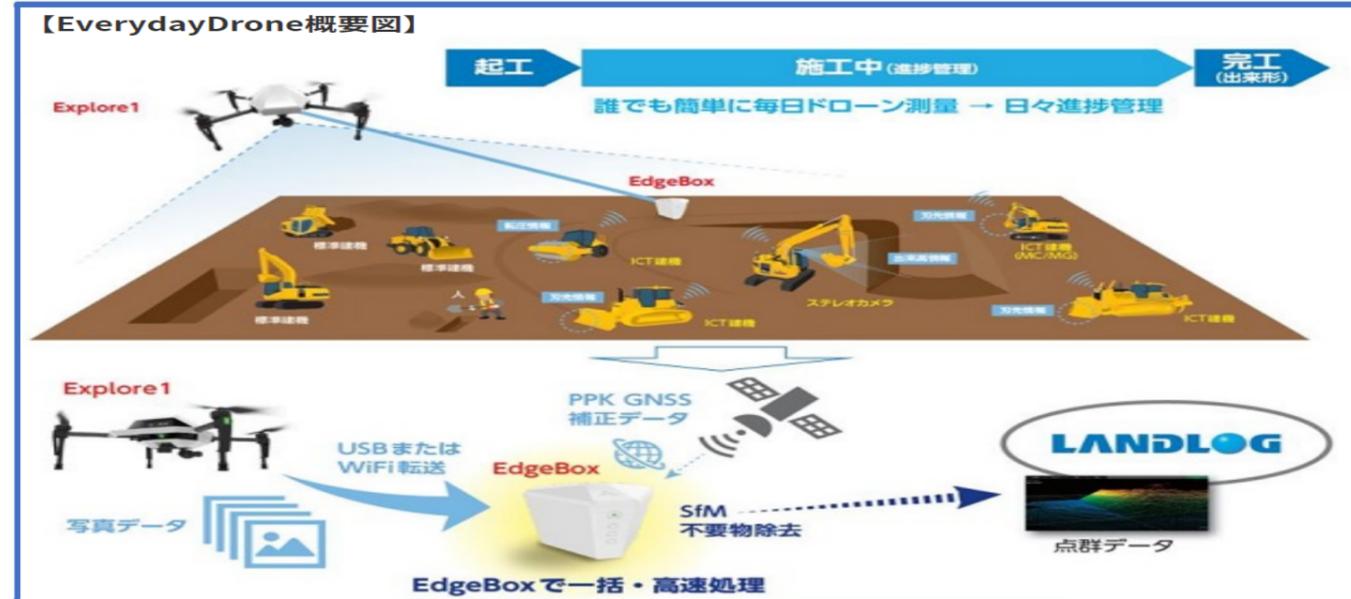
現在の盛土施工の構造について



現在の盛土施工はどのような構造をしているのか下記に示してみました。路体盛土とは道路の土台となる重要な部分となる為、現場の形状や天候等に十分配慮しながら施工しています。



前回第2号では【i-Construction】及び【ICT (情報通信技術)】の全面的な活用の取組みについてお知らせしましたが、今回はその中の1つをピックアップしたいと思います。前回、盛土施工前・施工後の測量はUAV (ドローン) を2回使用すると説明しましたが、盛土施工中においても盛土量や掘削土量など日々変化する現場の進捗情報が知りたいとの要望から、スマートコンストラクション (コマツCS) 新サービス【エブリデイドローン】を採用しました。誰でも毎日簡単にドローン測量ができ、離発着や飛行ルート設定が自動化され、簡単かつ素早くドローン測量を行うことが可能です。その測量データをスマートコンストラクションに転送し、前回の測量データと比較することにより盛土量や切土量を把握することが可能となりました。これにより、工事全体の施工進捗管理および土量管理を日々簡単に行うことができます。(下記: エブリデイドローンの概要図及び実際のスマートコンストラクション画面による土量管理)



スマートコンストラクションへ測量データを転送した後の画面

進捗状況・施工範囲を重ね合せ土量を確認できる画面



色によって盛土の進捗状況が分かるし、数値化して土量分かるので日々の土量管理が楽になりました!! パソコンやスマートフォンでも確認できます!!



現場での安全・社会貢献への取り組み

7月9日に高校生1名が、職場体験を行いました。当社では職場体験を受けていますので、お気軽にご相談下さい。

7月19日に建災防より講師をお招きし、建設従事者教育を実施しました。足場からの救助活動や日頃できないことを体験でき、とても勉強になりました。

当現場で従事している工事部後藤俊悦さんの標語が、建災防最上支部の令和元年年間スローガンに選ばれました。

専用ホームページ SMARTCONSTRUCTION サポート http://smartconstruction.komatsu

発行・編集 永井建設(株) 西山中道路現場事務所 Tel 0233-29-5523 担当: 浅岡健介

会社ホームページ http://www.nagai-construction.com/

永井建設ウェブ

